

長野の林業

令和元年5月10日発行
長野の林業編集委員会

No.352

もくじ



特集

就任のご挨拶	2	
令和元年度の中部森林管理局の取組	4	
お知らせ	山地災害に備える	
	山地災害キャンペーン5月20～6月30日	6
県森連だより	7	
長野県の木材市況	8	



ギョウジャニンニク



コゴミ



コシアブラ



タラの芽

山菜の旬な季節となりました。コシアブラ、タラの芽は天ぷらが美味。
コゴミは和え物がおすすめ。行者ニンニクはしょう油漬けで風味を楽しめます。

「林業県」への
飛躍に向けて



長野県林務部長
井出 英治

このたび、四月一日付けで林務部長を拝命いたしました。

長野県の林業・木材産業等の振興や健全な森林づくりに向けて精一杯尽力してまいります。

本年四月より、市町村を中心とした新たな森林管理システムや、その財源となる森林環境譲与税が導入されました。この制度の導入は、林務行政の大きな転換期であると考えており、これまで十分な管理が行われてこなかった森林が集約化され、収益性の高い林業や効果的な整備・管理等が行われることが期待されます。

県では、この新たな制度が円滑に運営されるよう、市町村の取組、広域的な連携体制づくりへの支援や、林業事業体の育成な

どを行ってまいります。

また、充実しつつある森林資源を活用し、収益性の高い林業を推進し、「林業県」を目指すことは、本県の大きなテーマです。現在、ICT等の先進的な技術を活用した「スマート林業」や、伐採から植栽までを一連の作業として行い低コスト化を図る「二貫作業システム」などの取組を進めているところです。

今後もし引き続き、このような新たな技術の普及・定着を図りつつ、海外の林業先進国との技術交流、路網の整備や高性能林業機械の導入などにより、生産性の向上を目指してまいります。

これらに加え、新たな技術を支え、多様化する現場に対応できる人材を育成するため、林業大学の専門職短期大学への移行の必要性等を検討してまいります。

さらに、大径材を活用してブランド化を進めている信州プレミアムカラマツの一層の情報発信や、東京オリンピックピック・パラリンピックの選手村施設への部材供給にあわせた、県産の森林認証材のPR活動を支援し、県産材の販路・需要拡大を図ってまいります。

一方、昨年度から第三期目の取組が始まった森林づくり県民税については、間伐等の里山整備に加え、住民協働による里山の利活用・整備に対する支援を行っています。

そのような中、地域の皆さんが主体的に活動を行う「里山整備利用地域」は、これまで四十を超える地域が認定されました。こうした地域での取組を通じて、森林と地域・人とのつながりを再生し、地域による自立的・持続的な森林の管理体制が構築され、森林資源を活用した多様な産業が創出されることを目指してまいります。

このほかに、近年頻発する流木や倒木などを含む山地災害への対応として、国の、防災・減災、国土強靱化対策にあわせた危険箇所計画的解消や、森林づくり県民税を活用した、主要なライフライン沿いの危険木伐採を新たに進めたいと考えております。

また、松くい虫被害について、人工衛星情報等を活用して「見える化」を図り、総合的な防除を引き続き効果的に進めるほか、野生鳥獣による被害に対しては、市街地に出没したクマやイノシシ等の大型獣の緊急捕獲等への支援について、新たに実施してまいります。

以上、今後の森林・林業等に関する主な施策の内容等をお示しいたしました。

今後とも、県民の皆様の一層の御理解と御協力をお願いし、就任のあいさつといたします。

森林・林業の技術と 普及の拠点として



長野県林業総合センター
所長
春日 嘉広

4月1日付けの人事異動により、長野県林業総合センター所長を拝命いたしました。

当センターは昭和36年に「長野県林業指導所」として開所して以来60年近くの歴史を有し、昭和63年に現在の場所へ移転し、名称を「長野県林業総合センター」に変え現在に至っております。

その間、時代の移り変わりとともに、森林・林業を巡る情勢も開所当時と大きく様変わりしてきています。当センターでは業務内容を時代の要請に応えるため、試験研究や技術研修の内容を見直しながら、その時々々の森林・林業の推進や課題解決に役立つ内容とするとともに、施設、設備の充実も図ってまいりました。

現在の当センターの主な業務としましては、森林づくりの分野では、針葉樹人工林・広葉樹林の更新技術、病虫獣害から森林を守る技術、山地災害に関する調査等の研究を行っています。

木材利用の分野では、木材の乾燥技術の高度化や新たな木質部材の開発など、県産材の需要拡大に向けた研究や、木材・建築事業者からの各種依頼試験等の対応を行っています。

特用林産の分野では、農山村における豊かな地域づくりに役立つきのこや山菜の栽培技術の開発や現地での適応化調査等を進めています。

また、林業の担い手の養成では、林業機械の操作研修や地域林業の中核となる林業士の養成などを実施しており、当センター内の森林学習展示館では、県民の森林・林業に対する理解を深めるための森林教室など各種講座を開催しています。

最近の当センターにおける特徴的な取組といたしましては、苗木生産者との連携による松くい虫の被害を受けにくいアカマツ苗木の検定と安定供給体制づくり、リモートセンシング技術を活用した山地災害リスク低減に向けた技術開発、増加する大径丸太の活用に向けたツーバイフォー部材など新たな県産材利用の研究、無菌感染苗木法を活用したマツタケ増殖技術の開発などを

進めており、その成果を地域に役立つ技術として県内に広げていければと考えております。

本県の森林は、先人たちのためまぬ努力により、現在の利用可能な大きさに育ってきました。この大切な森林を「植えて、育てて、伐って、利用して、また植える」という循環のサイクルを絶やさず次の世代に繋げるため、森林所有者や林業関係者の皆様を始め、多くの方のご要望にお応えできる技術の確立を目指して職員一同取り組んでまいります。

業務を進める上で、皆様に御協力をお願いすることがあるかと思いますが、よろしくお願いいたしますとともに、お気軽に当センターへお越しください。



林野庁中部森林管理局

令和元年度の取組



長野県内の国有林は、県土面積百二十六万haのうち十七%(三十七万ha)を占めており、このうち人工林面積が二十七%(十万ha)を占めています。

県内の国有林は五十年生程度の森林が主体となっており、健全な森林の育成や地球温暖化防止のため、間伐などの森林整備を推進しています。また、資源の円熟により主伐が増加するとともに、高齢級の高品質なブランド材を供給しています。

加えて、木材利用を進めることで、森林の持つ多面的機能の発揮を通じて地球温暖化の防止や地域経済の活性化に資することから、政府の方針に基づき、庁舎の新築、改築、内装やオフィス家具等で地域の木材を積極的に利用するとともに、ペレットストーブやペレットボイラーを各署で導入しています。



木曾森林管理署南木曾支署庁舎
(平成31年2月新築)

〔令和元年度の主要事業量〕

令和元年度の長野県内の国有林における新植植付面積は百六十九ha、間伐面積は二千七百五十六haを計画しています。
収獲量は、主伐が十二万二千m³(平成三十年計画量…十一万六千m³)、間伐が三十八万五千m³(同…四十二万六千m³)を計画しています。
林道の新設は総延長四・〇km、治山事業は溪間工が三十二基、山腹工が二十三ha、地すべり防止工が百七十八haを計画しています。

〔令和元年度の取組のポイント〕

◆多様な森林への誘導◆

主伐の際に自然に生育している広葉樹を残すことで、様々な生育段階

や樹種で構成される針広混交林に誘導し、森林の持つ公益的機能の一層の発揮を目指します。

◆安全・安心への貢献◆

・平成三十年七月豪雨や台風など災害が多発している状況を踏まえ、「国土強靱化緊急森林対策」として、荒廃山地の復旧・予防対策や、流木対策を三か年で集中的に実施します。
・大規模な山地災害が発生した際は、国有林の有無にかかわらず、県や市町村等と合同でのヘリコプターによる調査や森林土木技術者の派遣等により、被災地の早期復旧に向けた支援を行います。



ヘリコプターによる被災状況調査
(平成30年7月豪雨)

◆二ホンジカ被害対策◆

・生息範囲の広域化や捕獲従事者の減少により、管内の二ホンジカによる農林業被害は深刻化しています。平成二十九年度の長野県内の二ホンジカと、依然として高い水準で推移しています。中部森林管理局としても、防護柵を張る守りの取組だけでなく、くくりワナの貸し出しや猟友会への委託捕獲など攻めの取組により、平成二十九年度は約四千頭を捕獲しています。昨年度からは、国有林内の請負事業体周辺や通勤経路において請負事業体と猟友会が連携した「ついで見回り・通報」【ついで捕獲】を試行しており、今年度はこの取組を拡大していきます。



「ついで見回り・通報」
(請負事業体職員による猟友会会員の案内)

◆徹底的なコスト縮減と生産性向上◆

・木材の伐採から搬出までの一連の工程のうち、どこがボトルネックとなっているかを分析して改善を図る「生産性向上実現プログラム」によ

り、素材生産能力の高い事業者の育成に取り組みます。
 ・伐採から造林までを一体的に行う伐採・造林一貫作業システムの実施による地拵コストや下刈回数削減、主伐時に発生するD材の木質バイオマス発電所への販売により、造林コスト削減に取り組みます。
 ・ドローンや地上型レーザー扫描仪などの新たな機器を試行的に活用し、各種調査を効率化します。

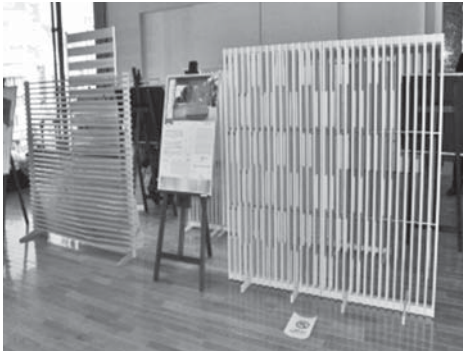
◆木材の安定供給とブランド材の推進◆

・天然木曽ヒノキの代替材として、八十年生以上の高齢級で高品質な人工林ヒノキを「**高国**木曾ひのき」としてブランド化、差別化しています。
 今年度からは、岐阜県の東濃森林管理署産の高齢級人工林ヒノキについても同じ呼称とし、ブランド材の安定供給を推進します。

・「**高国**木曾ひのき」や「信州プレミアムカラマツ」などのブランド材を用いたデザインコンへの開催や、「信州プレミアムカラマツ」の需要開発など、木材需要の拡大の取組を推進します。

◆民有林と連携した取組◆

・今年度よりスタートした「新たな森林管理システム」について、中部森林管理局としても積極的な支援をしていきます。具体的には、市町村で活躍できる意欲と能力のある林業経営者の育成や、森林施業共同団地の設定や民有林材との協調出荷、民有林関係者への技術の普及とともに、長野県内の広域連携体制の構築に向けた自治体への技術的な助言等に取り組めます。



デザインコン展示会
 (MIDORI長野りんごのひろば)



高国木曾ひのき

◆国民参加の森林づくり◆

・皇太子殿下御即位記念慶祝行事の一環である分収造林契約による森林づくり等に、企業やNPO等と取り組みます。

◆レクリエーションの森◆

・「国有林おさんぽMAP」の活用等により、国有林を通じた地域の観光振興に取り組みます。
 ・森林セラピーやトレッキングなどの場としてのフィールドの提供に加え、新たに、認知症予防として頭を使いながら運動するコグニサイズの活動場所としての国有林のフィールドの提供に取り組みます。また、森を活用した健康づくりや地域活性化に向けて、国有林が所在する地域、医療機関、有識者とのネットワークづくりに取り組みます。

◆地域住民等への情報の提供◆

・地域住民の方々に国有林をより身近に感じてもらうための取組として、各署等において治山事業や生産事業等の現場見学会を開催します。
 ・地域住民や観光客への情報提供の一環として、職員が局署の庁舎や観光名所から撮影した山並みの写真について、主要な山の名前や標高とともに紹介する「中部地方の山並み ～あの山なーに?～」コーナーを、局のホームページに開設しました。レジャーやお仕事で移動される際、遠くの美しい山並みをご覧になって「あの山の名前は何だろう?」と気になった時には、是非ご活用ください。

【令和元年度中部森林管理局の取組】詳しくはこちら
<http://www.rinyu.maff.go.jp/chubu/policy/business/sigoto/outline/index.html>



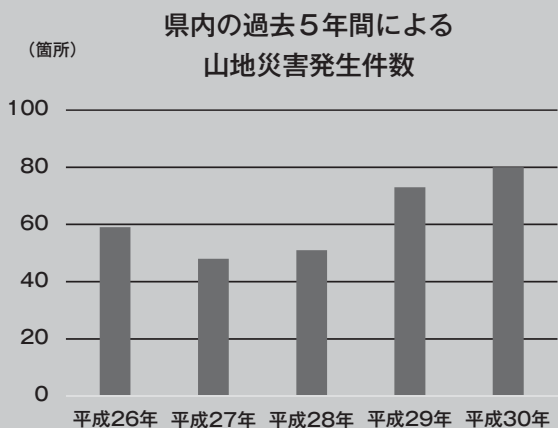
「中部地方の山並み ～あの山なーに?～」掲載写真例及び同サイトのQRコード



山地災害に備える

**山地災害防止
キャンペーン
5月20日～6月30日**

山地災害が多いのは、これから始まる梅雨の季節です。そこで、国、都道府県、市町村では毎年5月20日～6月30日に山地災害防止キャンペーンを全国的に展開し、山地災害危険地区の周知やパトロール、山地災害に備える広報活動、防災訓練などを行っています。



山地災害から住民の皆さんの生活を守るためには、日頃から地域の危険な箇所を把握し、点検することが重要です。そこでボランティアとして活躍されているのが、山地防災ヘルパーの皆さんです。治山施設の点検などを通じて地域の安全な暮らしの確保に貢献しています。

伐採木から解体木材まで適正処理はお任せください!

地産池消のエネルギー

- 間伐材・道路支障木解体木材
- 原料木(根株・枝桠・廃木材等)
- 用途に応じたサイズに破碎(0~50mm)
- バイオマス発電用燃料
- 吹付用基盤材(長野県特肥309号)

至飯綱スキー場
看板
お山の発電所
当社工場
至浅川・長野市街地

一般廃棄物処分業許可:長野市50006号

電子マネー決済対応 ISO 14001:2015

宮澤木材産業株式会社

環境事業部 木材リサイクルセンター

TEL.239-3260

長野市中曽根3646-1 FAX.239-3252
受付時間/8:00~17:00 定休日/日・祝祭日
本社/長野市中曽根2188-5 TEL.239-0588

URL <http://www.mwwi.co.jp> E-mail kankyou2@mwwi.co.jp

第223回 国有林土場活用委託販売市売ご案内

◎入札日 令和元年5月14日(火) ◎入札締切 午前10時30分
◎入札会場 木曾官材市売協同組合2階大会議室 ※本市売は、これまでの木曾地区国有林の公売に代わるものです

材種	署名	樹種	見込数量	主要銘柄等
素材	木曾森林管理署 (南木曾支署を含む)	木曾ヒノキ	162㎡	特木(101㎡) 尺上・B材(27㎡) 長尺材(4㎡) 特A(30㎡)
		ヒノキ (内 ㊦㊦木曾ひのき)	1,925㎡ (1,900㎡)	並柱(83㎡) 3m 曲(624㎡) 3m 材(58㎡) 3m24上(85㎡) その他(6㎡) 4m 直(280㎡) 4m 曲(748㎡) 4m土台(41㎡)
		天然サワラ	37㎡	特木(27㎡) B材(10㎡)
		その他N-L	1,151㎡	特木ヒノキ(857㎡) N特木(267㎡) 入サワラ(26㎡) L特木(1㎡)
計		178種	3,275㎡	

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。
※素材の物件所在地は、木曾森林管理署・南木曾支署の各土場又は、山元です。

〒399-5604長野県木曾郡上松町正島町2-45
tel (0264) 52-2480 (代) fax (0264) 52-1155 (フリーポーリング)
ホームページ <http://www.kisokan.com/> 入札物件詳細・入札物件結果 掲載



木曾官材市売協同組合

長野県森連労働安全衛生 推進大会開催

長野県森連では、平成31年4月20日(土)、もくりゅう館(安曇野市)において、労働安全衛生推進大会及び環境保全活動を実施しました。

労働安全衛生推進大会は、日々の業務の安全向上のため、役員が一堂に会し、森林組合綱領唱和を行いスタートしました。今回は、日本赤十字社長野県支部救急法指導員の薄井健氏から「救急法」についてご講演をいただきました。講演の中では、「一時救命処置」について、人形とAEDを使って実践形式で説明があり、薄井氏指導の下、職員も順番に練習しました。

続いて、昨年、長野県海外林業技術等導入促進協議会で「オーストリア等森林・林業技術交流推進調査」に参加した長野県森連の芳川幸一副参事から、フィンランドとオーストリアの林業・木材活用事例、環境への意識等について報告がありました。



保全帯へのツツジの植樹



一時救命処置の練習

その後、CSR活動の一環として、環境保全活動を実施しました。今回は、中信木材センター周囲の環境保全帯への植樹活動のほか、周辺の木皮等の清掃活動を実施しました。

長野県森連では、地域の皆様への感謝の気持ちを込めて、今後このような活動を続けてまいります。

長野県協同組合連絡会 通常総会開催

平成31年4月8日(月)、J A 長野県ビル(長野市)において、第49回長野県協同組合連絡会通常総会及び講演会が開催されました。

通常総会では、長野県生活協同組合連合会会長理事上田均氏による会長挨拶に引き続き、議事が執り行われました。第1号議案から第6号議案まで審議の上、原案通り承認されました。

今年度から、長野県協同組合連絡会には新たに「ワーカーズコープ信州」が加入し、構成団体は10から11になりました。

総会終了後は、フリージャーナリストで長野県長寿社会開発センター理事長の内山二郎氏をお招きして、「超高齢社会における地域課題と長寿社会開発センターの取り組み」協同組合に期待すること」と題して、高齢社会の現状を踏まえ、シニア世代の地域での連携・協同について講演をいただきました。

業務部・開発室体制強化

平成31年4月1日から、長野県森連の業務部・開発室が1人から3人体制(いずれも兼務)となり、森林組合系統と県内の森林・林業の発展に向けて新たな事業の実施や企画に取り組むことになりました。新体制となった開発室では、今年度はまず、林業のICT化への対応として、県森連の各木材センターの販売システムの改修を検討しているほか、木材流通の合理化を目指します。また、UAV(無人航空機)を活用した、森林資源情報の把握等に取り組む予定です。



協同組合連絡会通常総会

長野県の木材市況

令和元年五月十日発行 長野の林業通巻三五二号

発行 長野の林業編集委員会
長野市岡田町長野県林業センター内
電話〇二六(二三七)五〇二五
Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp

事務局長野の林業普及協会
電話〇二六(二三六)五六二〇
Eメール rinfukyo@giga.ocn.ne.jp

第1022回 市況表

(平成31年4月17日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
ひのき	3.0	直	14~16	13,500	12,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	14,500	13,000	
		直	24~30	15,000	14,000	
すざぎ	4.0	直	14~16	13,600	13,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	18,000	15,000	
		直	24~28	14,000	13,000	
すざぎ	3.0	直	18~22	12,000	8,000	3m(φ16cm~φ22cm) 4m(φ18cm~φ36cm) 直材限り需要あり。
		直	18~22	12,000	8,000	
すざぎ	4.0	直	24~28	13,000	8,000	直材限り需要あり。
		直	30上	14,000	10,000	
もみ	4.0	直	18上	10,000	6,000	安定的な需要あり。
さくら	4.0		58	70,000		
なら	4.0	込	14~18	10,000	7,000	需要あり。出品願います。
		込	30上	12,000	9,500	
ほお	3.4	込	30	15,000		くり、土台取り需要あり。
くろみ	4.0	込	28	23,200		
くろみ	4.0	直	18~22	27,000	18,000	
あからまつ	4.0	直	18上	8,000	6,000	需要期終了。
からまつ	4.0	直	18上	13,000	10,000	需要あり。出品願います。

出品量 1,078㎡ 販売量 1,078㎡ 落札率 100% 買い方 30社

出品にご協力いただきありがとうございました。桧材、価格横ばいですが、地元の方中心に需要あり。杉材3m、4mともに価格安定、需要あり。広葉樹(さくら、くろみ)、良材には高値。からまつ材、引き合いあり。引き続き出品よろしくお願致します。
尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。
(*安全のため荷下ろし、積み込みの際には車止めの使用をよろしくお願致します。)

第1024回 市売り 市況表

(平成31年4月16日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 0263-77-2349

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
すざぎ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	3.0m×16~22cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	20~28	13,000	10,000	
すざぎ	4.0	直	30上	15,000	12,000	
		直	30上	15,000	12,000	
ひのき	3.0	直	20上	18,000	13,000	大径木に高値。
		直	18~28	19,000	14,000	
		元	32	23,000	30,000	
からまつ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	材不足しています。細物5cm~13cm引合い強し。ご購入お願いいたします。
		直	14~18	13,000	10,000	
		直	20上	16,000	12,000	
		曲	14~18	6,000	5,000	
あからまつ	4.0	込	26~56	15,000	6,000	需要期過ぎ価格下げ気味。
		込	24~34	30,000	8,000	
げやき	6.6		58	151,000		一本単価
くろみ	4.0~5.0	込	20~34	35,000	13,000	入札活発です。ご購入下さい。
なら	3.0~4.0	込	18~34	29,000	12,000	
くろみ	4.0	込	20~42	25,000	12,000	
うるし	4.0	込	22	40,000		
さくら	2.0~4.0	込	26~40	25,000	12,000	

出品量 3,812㎡ 販売量 3,545㎡ 落札率 93% 買い方 31社

今回の市売り、出品量が少ないながらも広葉樹を中心に応札も活発で活気ある市売りとなりました。ただアカマツについては、需要期が過ぎ値下がり感がありますので、計画的な伐採をお願いいたします。
尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1056回 市況表

(平成31年4月17日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター



Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
すざぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	11,000	
		込	8~13	5,500	4,500	
すざぎ	4.0	直	14~20	12,500	10,000	需要あり。積極的に出品願います。
		直	22~28	14,000	12,000	
		直	30上	18,000	11,500	
すざぎ	4.0	直	14~18	8,000	5,500	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14~18	8,000	5,500	
		曲	20上	11,000	8,500	
からまつ	4.0	込	6~13	11,000	6,000	需要あり。積極的に出品願います。
		直	14~18	12,500	9,000	
		直	20上	28,500	15,000	
からまつ	4.0	直	40上	33,000	22,000	高齢級材 高齢級材
		直	54	41,000		
		曲	14~18	6,000	5,000	
からまつ	5.0	直	20上	14,000	13,500	需要あり。積極的に出品願います。
		直	30上	22,000	14,000	
信州P	4.0	直	46	33,000		伐採前にご相談ください。
からまつ	4.0	直	42	31,600		
ひのき	3.0	直	18~22	18,000	15,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	16~18	17,000	14,000	
		直	20~28	28,000	15,000	
ひのき	4.0	直	30上	56,000	16,000	需要増。出品願います。
		直	20上	14,500	12,000	
		曲	20上	14,500	12,000	
げやき	4.6		86	1,000,000		一本単価
げやき	3.2		66	300,000		一本単価
ほお	3.4		40	29,100		
くろみ	4.0	直	44	36,500		
		直	48	39,100		

出品量 5,989㎡ 販売量 5,754㎡ 落札率 96% 買い方 53社

今回は、信州プレミアムカラマツをはじめとした、カラマツの高齢級材が多数入荷し、高値続出の大変賑やかな市売りとなりました。
市況として、カラマツについては前回に比べやや値上りとなりました。スギについては、横ばいとなっております。どちらも需要は旺盛ですが、品薄となっておりますので積極的に出品願います。
また、広葉樹については、気温も上がり時期が悪くなってきたこともあり、値下り傾向となりました。今後さらなる値下り予想されますので、これからのご出品については事前にご相談をお願いいたします。
【お願い】合法認定業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず(合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の)納品書の提出をお願いします。

第510回 木材共販市況表

(平成31年4月18日実施)



出品量 1,250㎡・買い方 14社・落札率 90.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円)	平均値 (円)	平均石値 (円)	備考
ひのき	3.0	元直	26~36	25,000	12,000	3,360	
		直	14	12,000	8,000	2,240	
ひのき	3.0	元直	16	13,000	11,000	3,080	
		込	18~24	20,000	16,000	4,480	
ひのき	4.0	込	26~28	20,500	16,000	4,480	
		込	30上	25,000	18,500	5,180	
ひのき	4.0	中込	16~22	15,000	13,000	3,640	
		込	24~28	15,000	13,000	3,640	
ひのき	4.0	込	30上	18,500	15,500	4,340	
		元直	16~22	18,500	17,000	4,760	
ひのき	4.0	元	24~28	24,500	20,000	5,600	
		直	30上	33,000	26,000	7,280	
ひのき	4.0	中直	12~14	12,000	8,000	2,240	
		込	16~22	17,500	15,000	4,200	
ひのき	4.0	込	24~28	17,500	14,000	3,920	
		直	44	43,600			
すざぎ	3.0		12下	360	300		一本単価
すざぎ	4.0	直	18~22	9,000	8,000	2,240	
		直	24~32	9,500	8,500	2,380	
すざぎ	4.0	込直	16~18	9,500	8,000	2,240	
		込直	20~22	10,500	9,500	2,660	
すざぎ	4.0	直	24~28	12,000	11,500	3,220	
		直	30上	13,000	12,500	3,500	
からまつ	3.0	込	14~22	7,500	5,500	1,540	
		込	12~14	6,500	5,000	1,400	
からまつ	4.0	込	16	8,500	6,000	1,680	
		直	18~28	13,000	11,500	3,220	
からまつ	4.0	直	30上	13,500	12,000	3,360	
		小曲り	14~30	5,000	4,000	1,120	
くろみ	4.0	直	12下	320	270		一本単価
くろみ	4.0	直	18~26	30,500	18,000	5,040	
いちい	3.0		44	42,000			一本単価

総評

ひのき、出材少なく価格は横ばい。
すざぎ、出荷量はあるが、良材少なく、価格は横ばい。
からまつ引き合いあり、出荷量少ない。価格は横ばい。
いちい太物に応札あり。引き続き出荷の協力をお願いいたします。